

卷之三

だれが風を見たでし  
よう

五月晴れの空にいさましく鯉幟かはためきます。それは日には見えないけれど五月の風があつてのことでしょう。

だれか風を見たでしょうほくもあなたも見やしない  
されど木立が頭をさげて風は通りすぎ下さい  
如来様のおはたらきは、あたかも風のようです。  
だれにもそれは見えないけれど、ときにはわたしの煩惱の枯れ葉・泥草をなぎたおし、またときにはわたしのいのちの青葉・若芽をはぐくみ育てあげてくださいます。

また、自分自身は風に触れることをしないで、ただ風というものの科学的な知識だけをふりまわして、物知り顔に振る舞うひともいます。蓮如さまの時代のお坊さんの中にも、得手勝手な解釈をふりまわして「我が身あり顔」の十劫正覚の異議をいう人達多くいました。



おめでとう



五月十八日 櫻見の横山ゆいちゃん(四月十一日生)が、誠・啓子ご両親と祖母、それに母方の祖父母と二人のお兄ちゃんにつれられて、にぎやかに初参式におまいりしました。

式のあと例によってお祝いのこころを歌にして贈りました。

唯一の世の道はまことなる念佛

## 親の警告

100

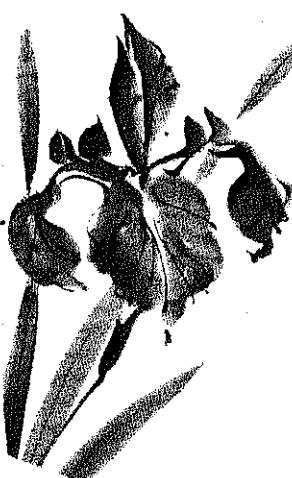
恵信尼さまは、ご開山親鸞さまの奥さまであります。

記念講演に「三宮義信先生が”恵信尼さまの  
お心を生きる”という題でお話しくださいまし  
た。

「百葉」の仁好会員が唱和する。うたのはうたの声は、会館いっぱいに力強く響きわたりました。

（四月二二五日）京者の本願寺会館において、惠信尼さま頭彰・平和の集い”が開催され、勝林寺から仏婦会長岩上さんと二人で参加させていただきました。

平和の集いに参加して  
ムニキ会長 田村



蓮如さまはこのような人々。すなわち自分の手で風を捕まえよう、自分の感覚・知識で如来さまを手にいれようとする、身のほど知らぬ傲慢な人々を戒め諭すために並々ならぬご苦労をしてくださいました。

私が風に吹かれましょう。風に当たって風の音をききましょうとおすすめになります。

みんなで寄り合つてザワザワとたずね合い聞き合い語り合うそのなかに、聞こえてくださる如来さまの呼び声に出会わせていただこうではないかとおすすめめくださったのが蓮如さまであ

【ゆい・よのみ・あこと・いいく・よこや  
ま・とよみこみました】

『意味……人生のただ一つの拠り所は、お念佛以外にはない。お念佛は、親さま如来さまのおよびごえ。そちらに行つてはだめだよとの警告もある。そのお念佛をききつつ、ゆめゆめ横道にそれたり誤つたりせず。』

六月のこよみ

一日	玉井克弥氏宅法事
二日	山本 栄氏宅法事
三日	竜谷大学同窓会
四日	同じ
五日	同じ
六日	兵庫教区基督教臨時総会
七日	永井孝二郎氏宅法事
八日	田村忠治氏宅法事
八日	中山隆雄氏宅法事
八日	出石組仏婦連盟総会（福成寺）
十日	玉日会定例法座
十四日	宮崎哲也氏宅法事
十五日	西方寺永代経
十六日	関岡敏雄氏宅法事
十七日	西方寺永代経
十八日	森友 強氏宅法事
十九日	岸和田市正光寺同朋講座
二〇日	十六夜会定例法座
二十一日	龍野淨蓮寺法事
二十二日	姫路永代経
二十三日	福成寺永代経
二十四日	福成寺永代経
二十五日	赤穂永応寺仏婦来寺
二六日	教区「連研のための研究会」
二八日	みのりを聞く会
二九日	正福寺永代経
二九日	正福寺永代経

あさな  
幼いうちに  
拝む心を  
育てよう

毎度ご利用頂きありがとうございます。  
下記の通りご案内申し上げます。

平成 年月日作成

## ご旅程表

『旅費計算書』

全但バス(株)出石営業所  
〒668-02兵庫県出石郡出石町小人129-4  
☎ 0796-52-3011 FAX 0796-52-3012  
一般旅行業務取扱主任者 戸田一夫

研修旅行

## 石見瑞泉寺へ

石見(島根県)山瑞白水寺は、前坊守さまの故郷のお寺です。その寺の墓地に坊守さまも分骨されていらっしゃいます。



七回忌をお迎えするにあたり坊守さまの跡をお慕いしたいと計画しました。

## 石見銀山は江戸幕府の有力な財源でしたし、毛利元就と争った尼子との古戦場でもあります。古い坑道も見てみたいと思います。

なんといつても山陰路は、古い美しい日本の自然に出会うことのできる唯一の街道です。出雲路の海山の美を満喫していただきたいと思います。

お一人様会費  
30,000

勝林寺	様	ご一行 40名	温泉津町	期間 平成09年06月21日(土)~06月22日(日)
代表者	様	ご住所	☎ 0796-52-3083 FAX 0796-52-5663	
①	6/21(土)	勝林寺 朝来山 6:00 6:50~7:05	鶴居 勝央SA 8:50~9:05	七塚原SA 10:55~11:10
②	6/22(日)	三瓶温泉 8:30 10:15~11:15	出雲大社 松江城(屋) 12:15~14:15	八橋 16:00~16:15
③	( )	瑞泉寺 13:30~14:30	石見銀山資料館 15:15~16:00	鳥取砂丘 17:45~18:00
宿泊料	通行駐車料	宿泊代	食事代	押録入場料
367,500-	22,000-	お客様手配	3,150-	800-
宿泊二食 のみもの	12,000	3,000		
				お一人様合計 614,438-

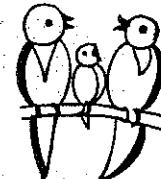
☆バスは一台ですのでなるべく早く申し込んでください。(先着順です)

☆それぞれの地区の仏婦評議員を通して申し込みください。

☆6月10日で締め切ります。

☆一人30,000円の会費は乗車の時に集金します。

☆携行品……①門徒式章 ②念珠 ③保険者証



## 山門・鐘楼改築のための臨時代議員会

頭書の件を主な議題として五月二十四日臨時代議員会が開かれた。ほぼ完成した基礎工事の現場を視察、大工工事施工の兼井征夫氏宅への陣中見舞報告があつたのち、おもに支払い計画について審議した。

年度当初の代議員会時点では不明確であった経理を、その後の建設会社との交渉、総代会での検討を経て総体予算も確定した。

年度後半に入常費相当額を改築工事特別積立会計として積立ることに決定した。

なお、七月二十七日の前坊守七回忌法要に併せて「工事完成奉告式」を執行予定。

(詳細は地区代議員にお聞きください)



## 笠智衆さん

小津安二郎監督の「東京物語」「秋刀魚の味」などで洪い老け役を好演、また山田洋二監督の「寅さんシリーズ」では柴又帝釈天の「ご前様」役として有名だった故・笠智衆さんがなくなって今年で既に四年の歳月がながれた。笠さんは明治三十七年九州熊本の浄土真宗来照寺の笠淳心住職の次男として誕生。長男の兄谷大学を見学するため京都にのぼり、父から言わされたとおりまず大学本館講堂の阿弥陀如来さまと対面した。ところが如來さまと対座しているあいだに、この学校にはいるのが恐ろしくなつた。父の厳しいお仕置きがまつていたのだ。あんなつらいことをこの大学にきてからもしなければならないのかとおもったら、阿弥陀様の前けれどもラスツンで逃げ出したくなつたというのだ。

それで京都の竜谷大学には入らず、同じ本山関係ではあるが東京の東洋大学にはいり、その道へすすんだと言うのだ。

以来、小津監督・山田監督のもとで酷苦勉励のものとしたのであつた。結果からいえば寺を捨て僧侶をして、阿弥陀様の前から逃げ出したことが「正解」であったのかも知れない。

ところが、その笠さんが晩年、竜谷大学の学生のときのとおりの名脇役としての地位を不動のものとしたり、阿弥陀様の前から逃げ出したと言ふことだ。

わたしは、熊本来照寺のほとけ様もおやじました。それから竜谷大学の阿弥陀如来さまのまえからもしつぽを巻いて逃げ出しまし。しかし年を取った今、わたしの家のお仏壇の如来様と対していると不思議とここが落ちつても常に私をみまもつていて下さったのですね。おやじだつて同じことだったんですね。そのことにこの年になつてようやく気づかされました。

笠さんのあの洪い演技の背景には、こんなおもいがあつてのこととかと、いまさらながら追慕したことがありました。

## 建立無上殊勝願超發希有大弘誓



キリスト教の神様はヤーウエーとよばれる唯ひとりの神様です。その神はまた天地あらゆるものを創造なさいます。ところが仏教のほとけさまは、無数にいらっしゃいます。それぞのほとけさまは、それぞれ独特的の願い(たとえば私はこういう人を救つてやりたいという願い)をもち、誓いをたて、それにむかってはたらいくください。それを仏教では如来とかほとけと呼ぶのです。

法藏菩薩、のちの阿弥陀如来さまは、世自在王如来さまの前で、はてしなく濁りきつた世の中いうごめく悪人(「無邊の極濁悪」)をこそ救つてやりたいという、とんでもない特殊な願いをうちたて、どのほとけも建てたことのない弘多い誓い(目標)にむかっての行動にはげしく出発なさるのです。